

14

提出前の最後のチェック

この章で学ぶポイント

提出する前に必ずチェックする

なるべく書いたときの自分から離れて、間違いを見つける

言いたいことが明確化すれば構成や表現が工夫できる

◎自分の文章の良し悪しは判断しにくい

さて、これで、一応「自分のやりたいこと」という志望理由書ないしエントリーシート**の骨格**ができたわけです。どうです？ 感慨無量でしょう。最初のうちは、1,200字なんか書けない、なんて泣き言を言っていませんでしたか？ それ**が**、今は立派に1,000字を越える文章を書いている。立派なものです。とりあえず、自分をほめてあげましょう。

とは言っても、これで作業が終わったわけじゃない。何でもそうですが、何かをした後は、まずいところはないか、もっとよく表現できるところはないか、必ずチェックをしなければいけません。よくPDCAサイクルなんて言いますね。提出というActionの前に必ずチェックの時間を取りましょう。



人間の作業はけっこう間違いだらけです。ちゃんと書いたつもりでも、字や表現の間違い、データの勘違い、構文や接続コトバの間違いなどが山のようにある。こういう種類の間違いは結構目立つ！「あっ、こんなこともできないのか」と思われてすごく損するので、いちいち辞書を引いたり、元の資料にあたったりして、ちゃんと確かめましょうね。

実を言うと、プロの書き手だって、そんな間違いはしばしばするので、そんな間違いをしないために、校正という専門職があるくらい。残念ながら、あなたたちにはそんな特別な人はつけてあげられないので、自分でやってくださいね。

課題14-1 課題13-3について、字や表現、データ、構文や接続コトバの間違いをチェックしよう。

◎なるべく自分から距離を取って書き直す

でも、間違いは字句だけではない。全体の構想、アイデア、論理の間違いなどはなかなか分かりにくい。そういう文章構造に関わる間違いを見つけるコツは、なるべく書いたときの自分から離れることです。書いたときの熱気をそのままに見直すと、文面を読んでいるようで、実は書いたときの気持ちをなぞっている場合が多い。だから、自分の文章をできるだけ「他人が書いたもの」のように眺める必要があります。

そのためには、どうするか？たとえば、夜書いた文章は朝見直すといいです。夜には、ときどき異様に筆が進むことがあります。「わー、こんなにぐんぐん書けちゃって、俺って天才かもwww」なんて感じるのだけど、たいていは錯覚にすぎない。そんなに簡単に天才にはなるもんじゃありません。